

## 産業の発達と幕府政治の動き

令和2年 10月1日(木) 6校時 ICT教室

## 1 単元について

○本単元は中学校学習指導要領 社会〔歴史的分野〕内容 中項目「(3) 近世の日本」の内容に基づき設定する。

## (3) 近世の日本

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身につけること。

## (ウ) 産業の発達と町人文化

産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。

## (エ) 幕府の政治の展開

社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解すること。

## (1) 単元観

本単元は、産業の発達に伴って次第に貨幣経済が農村部に広がり、経済的格差が生じるとともに、自然災害の発生により百姓一揆が頻発し、幕府はそれを克服するために何度も改革を繰り返したが、その都度新たな問題が生じ、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させることを目的としている。これらの社会の様子の変化を、武士や農民などそれぞれの立場から考えさせることで、多面的・多角的に考察することができる単元である。

## (2) 生徒観

本学級の生徒は、資料(グラフ、表、写真など)を根拠として、問題点を把握し自分の言葉で述べる力に課題がある。また、江戸時代を学習する前に「江戸時代はどんなイメージがあるか」「江戸時代はなぜ終わりを迎えたのか」というアンケートを行った。それぞれ最多数を占めたのが、「鎖国をしていた時代」(50%)「大政奉還したから」「ペリーが来航したから」(合わせて70%)だった。「政治改革がたくさんあった時代」(22%)「政治が上手くいかなかったから」(16%)と答えた生徒もいたが、18世紀から幕府の政治に行き詰まりを理解している生徒は少ない。

## (3) 指導観

## シンキングタイムについて

さまざまな立場から幕政改革を行った背景や結果を評価させることによって、多面的・多角的な視点で幕政改革の意義や江戸幕府の政治が行き詰まりをみせたことを考えさせていきたい。また、ICTを活用して説明に必要な資料を選択し、適切な情報を読み取る力や自分の言葉で表現する力、社会問題に関心を持ち、自分の考えを他者に話したり書いたりすることで表現する力の向上を目指す。

#### (4) 単元の目標

|  |                   |
|--|-------------------|
| ○なぜ江戸幕府の政治が行き詰まっていたのか、その理由を既存の知識を活用してさまざまな立場から考察し、産業の発達や幕府の政治改革に対する関心を高め、意欲的に追求している。 | 【社会的事象への関心・意欲・態度】 |
| ○江戸幕府の政治改革の目的と、それが次第に行き詰まりを見せた背景について、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現できている。                      | 【社会的な思考・判断・表現】    |
| ○さまざまな資料から産業や交通、文化の広がりや幕府の政治改革について、統計資料から読み取り、まとめている。                                | 【資料活用の技能】         |
| ○社会の変動や欧米諸国の接近に伴う幕府の政治改革の内容や、新しい学問・思想の動きについて理解し、必要な知識を身につけている。                       | 【社会的事象についての知識・理解】 |

#### 2 単元の評価規準

| 観点   | ア. 社会的事象への関心・意欲・態度                       | イ. 社会的な思考・判断・表現                          | ウ. 資料活用の技能                            | エ. 社会的事象についての知識・理解              |
|------|--|--|---------------------------------------|---------------------------------|
| 評価規準 | 幕府政治が行き詰まりをみせた経緯と背景について関心を高め、意欲的に追求している。 | 幕府政治が行き詰まりをみせた経緯と背景について考察し、結果を適切に表現している。 | 資料やグラフから飢餓の発生と百姓一揆、幕府の改革との関連を読み取っている。 | 三大改革の内容と背景、外国船の接近と幕府の衰退を理解している。 |

#### 3 指導計画（10時間）

| 次 | 学習活動  | 評価規準<br>【観点】（評価方法） |
|---|---|--------------------|
| 一 | <b>課題の設定</b><br>①安定していたはずの江戸幕府が終ったのはなぜかを予測する。<br><b>【単元を貫く課題】</b><br>江戸幕府の政治が行き詰まった理由を考え、改善策を将軍に提案しよう   | 【ア】ワークシート          |
| 二 | <b>情報の収集 整理・分析</b><br>②江戸時代の農業や諸産業の発達した理由を考察する。<br>③元禄文化がどのような特色をもった文化か理解し、元禄文化が生まれた社会の様子について理解する。<br>④綱吉や新井白石の政策の結果、世の中がどのように変わったか理解する。<br>⑤貨幣経済の広がりが社会に与えた影響を資料から捉えてまとめる。<br>⑥享保の改革を評価し、改革のねらいと結果を理解する。（本時）<br>⑦田沼の政治と寛政の改革の内容を知り改革を評価し、改革のねらいと結果をまとめる。<br>⑧化政文化や新しい学問の特徴を調べ、その後の社会に与えた影響や関連性を考察する。<br>⑨国外や国内への幕府の対応策（異国船打払令・天保の改革）の効果について知り、幕府の対応策を評価し、幕府政治の変化を理解する。 | 【ウ・エ】ワークシート        |
| 三 | <b>整理・分析</b><br>⑩これまでの学習内容を整理し、江戸幕府の政治が行き詰まった理由と改善策について考える。<br><b>まとめ・創造・表現</b><br>班で意見を交流し、改善策をまとめる。<br><b>実行・振り返り</b><br>再度、個人で江戸幕府の政治が行き詰まった理由を考察する。   | 【ア・イ】ワークシート        |

#### 4 本時の展開 (6/10時間)

##### (1) 本時の目標

享保の改革について、武士・庶民・商人などの立場別に政策を評価し徳川吉宗の政策について通知表を作り、享保の改革について理解する。

##### (2) 観点別評価規準

| 十分満足 (A)                        | おおむね満足 (B)                  |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 複数の立場から吉宗の改革のねらいについて説明することができる。 | 1つの立場から吉宗の改革について説明することができる。 |

##### (3) 学習の展開

| 学習活動  | 指導上の留意点 (○)<br>予想される生徒の反応 (・)  | 評価規準 (評価方法)<br>配慮を要する生徒への支援 (◆)   |
|---|--|---|
| <p><b>1.既習事項の復習(5分)</b><br/>享保の改革の政策について、確認する。</p> <p><b>2.課題意識をもつ(5分)</b></p>  |  |   |
| <p><b>学習課題を提示する。</b><br/>徳川吉宗の政策をそれぞれの立場で評価し、吉宗の政策の通知表をつくる。</p>   |  |   |
| <p><b>瀬戸田シンキングタイム</b></p>   |  |   |
| <p><b>3.課題解決をする(30分)</b><br/>【個人思考】<br/>各グループそれぞれの立場で、(武士・庶民・商人・幕府)政策を評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>4：よくできている</p> <p>3：まあまあできている</p> <p>2：あまりできてない</p> <p>1：まったくできていない理由も書く。</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>考えを深めるための手立て【ICT活用】</b><br/>説明に必要な資料を自分で選択させ、適切な情報を読み取らせる。<br/>資料Ⅰ：農村における貧富の差<br/>資料Ⅱ：百姓一揆・打ちこわしの発生件数<br/>資料Ⅲ：ある農家の家計<br/>資料Ⅳ：幕府の石高量</p> </div> | <p>◆資料を適切に読み取れているか、机間指導する。</p> <p>◆資料を読み取るポイントを用意しておく</p>   |
| <p>【グループ思考】<br/>それぞれの立場からの評価を聞き、グループ全体での政策を評価して理由としてまとめる。</p>   | <p>○タブレットにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>考えを深めるための手立て【シンキングツール活用】</b><br/>Xチャート<br/>それぞれの視点から見て集めた情報を整理し、まとめる。</p> </div>  | <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>【武士】<br/>評価3 新田開発がたくさん行われ、米の値段が下がる。そのため、収入が減った。ただ、質素節約の成果もあったので、支出も抑えられ大きく生活は変わらなかったから。</p> <p>【庶民】<br/>評価1 目安箱を設置し庶民の意見を聞こうとしたが、農村の貧富の差が拡大しているから。</p> <p>【幕府】<br/>評価3 年貢率を一定にして幕府の年貢収入は増えたから。</p> |

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>【全体で交流】<br/>各班で発表する。<br/><b>4.まとめ(10分)</b><br/>吉宗の政策はどういうものか<br/>個人でまとめる。</p> <p>振り返りを記入する。</p>                | <p><b>タブレットを操作をしながら、発表することで</b>自分の考えを他者に伝える力の向上を目指す。</p> |  |
| <p>生徒のまとめ例<br/>吉宗は幕府の財政難を改善するために年貢の率を、豊作・凶作にかかわらず一定の率にしたり、上米の制を行った。幕府の収入は一時的に増えたが、農民にとっては年貢の負担が重く生活が苦しくなりました。</p> |  |  |
|   | <p>複数の立場から吉宗の改革のねらいについて説明することができる。<br/>(ワークシートの記述)</p>   |  |